

交換留学体験記：アーカンソー大学

人間科学部人間科学科 3年

大城 久李亜

1月の寒さからは一転、夏のように太陽が鋭く突き刺さるような暑さになる週もあれば、一日中雨、風が強くジャケットを着ないと耐えられない寒さの週もあつたりと気候が安定しない3月・4月でしたが、Spring break、中間テスト、final exam への準備等、いろいろな体験がありました。

1. 学校がある1日

私の場合、今学期は月から金まで毎日授業が入っていて、朝いちばん早い時間で8:30からの授業があり、最後の授業が2:00に終わるような感じでした。朝に関しては、毎回バスに乗らないといけないのですが、そのバスがたまに混んでいて乗れないときもあるので早めに出て7:30のバスには乗れるようにしていました。午後は何も予定がないので、図書館で勉強したり、友達とご飯を食べに行ったりと割と時間に余裕をもって過ごしています。課題に関しては、まあまあ量はありますが、手に負えないほどでもなく、アメリカの大学は地獄のように忙しいのを想像していたのでそこは意外でした（多分、私のとっている授業の難易度がそれほど高くなく、単位数も少ないため）。



保健センターにあるリラクゼーションルームで
マッサージチェアもあり勉強もできます。人が
全然いないので穴場です



新しく改装された大学の図書館。4フロアあつ
て地下にはカフェもあつたりととても快適な雰
囲気で落ち着いて勉強できます

2. 授業外での生活

アーカンソー大学に来てとても良かったと思うのが、留学生がキャンパスライフを楽しく過ごせるような機会がたくさんあるということです。特に私がお気に入りなのが、Campus cousin というプログラムで、一人の留学生に付き、一人アメリカ人の学生がついて Arkansas を紹介してくれたり、困ったことがあったら相談できるというものです。そこで出会うこと

ができた子とすごく仲良くなることができ、その子のおかげでただキャンパス内に留まることなく Arkansas という場所を深く探索するきっかけにもなったと思います。

また土曜日には毎週 Bible study に参加していて、毎朝、Bible study に招待してくれた夫婦が朝食をふるまってくれた後、聖書の内容について1時間学んでいます。この方々はキリスト教を信仰している方が多いのですが、それ以外の宗教も含め大学と連携している宗教イベントやグループがあったりと、日本ではなかなか体験できない宗教に囲まれた生活を知ることができ、とても興味深く感じます。

週末の他の時間は、友達とスポーツセンター（学生であれば無料、道具も全部借りれてボルダリングなど珍しいものも...）で体を動かしたり、ハイキングに行ったり、アメリカの食べ物を試したりと、とても充実した時間を過ごしています。



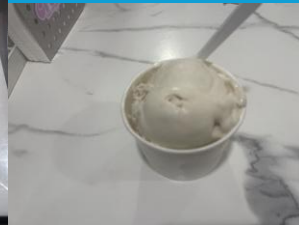
Bible study の猫と朝食



Lambert's café というミズーリ州にあるレストランで、パンを店員さんが投げて配るというアメリカらしい？ところでとても印象的でした



春休みにチューリップフェスティバル行った時



Campus cousin おすすめの食べ物屋さん

3.Arkansas 州について

Arkansas 州は Natural State と呼ばれるほど自然豊かな場所で、日本のように春夏秋冬の四季がはっきりあるのが特徴だと思います。そのため、現地の人に趣味を尋ねるハイキングかサイクリングかの2択の答えが返ってきます。自然好きの人にはもちろん、島根にも何となく雰囲気が似ている気がして、島大生にはもってこいの場所なのかもしれません（刺激が欲しい場合は別ですが）。

でも大学内では毎週何かしらイベントがあったり、コミュニティーもたくさんあったりと、積極的にそれらに参加してキラキラしたキャンパスライフを過ごしている学生もたくさんいます。



ハイキング1



ハイキング2



ハイキング3



右は大学が主催するコンサートで地元のバンドなどが集まって
昼から夜まで6時間くらいライブをしていました。左はスリラン
カのイベントの様子。

夏休みは寮なども閉まってしまい、日本に帰らないといけないかもしれないと不安だったのですが、運よくアパートメントを借りている友達がルームメイトを探していたのでそこに移ることになりました。3か月という長い夏休みをどう過ごすかまだ計画中ですが、せっかくのアメリカでの滞在を楽しみたいです。